

テモ再開ノ意思ナク、適當ナル買手モアラバ賣リ放タントスルモノノ如シ、
 従業員中寄宿女工二百二十五名中百七十名ハ天満工場ニ五十五名ハ住吉工場ニ翌五日朝ソレソレ轉屬ヲ了セシモ通勤女工三十名ハ轉勤不可能ノ状態ニ在リ。男工中二十六名ハ、各工場ニ既ニ轉勤セシモ、殘余ノ二十名ハ指示工場ヘノ轉勤ヲ欲セズ豫テ一部ノ者ノ加入セル全國労働日本紡織労働ノ支持ヲ得テ、工場再開ノ運動ヲ行ヒ居レリ。即チ五日午後一時日本紡織 東久太郎、鶴五三等ハ、工場閉鎖ヲ取消サレタシトノ只一項ノ嘆願書ヲ持參工場長ニ面會ヲ求メシモ多忙ヲ理由ニ翌日ニ延期ヲ求メラレ、六日松永工場長ト會見嘆願書ヲ提出七日回答ヲ得ベキ事ヲ約シテ引揚ゲ七日更ニ會見セシモ本社ノ方針ニ基クモノニシテ再開ハ不可能ナル事ヲ説明サレタル結果交渉ヲ打ち切り重役私宅訪問ヲ行ヒタル上更ニ十二日本社服部労働課長ニ東、等ハ面會工場再開ヲ嘆願シタ

ルガ之又不可能ノ旨、回答セラレ交渉打ち切りノ儘現在ニ及ベリ工場再開ヲ嘆願セル者ハ轉勤不可能ナル男工二十名ト前述ノ通勤女工三十名ニシテ、之等男女工ハ早晚合流シ會社ニ當ルモノト豫測セラルルモ、大多數ハ既ニ轉勤ヲ了シ居ル結果、此上事態ハ擴大セザルベク、會社ハ之等轉勤不可能ノ者ハ退職スルニ至ルベク其場合ハ規定ノ手當ヲ支給スベシトナン居レリ。